

平成31年度 課題分析研修 I (プランクトン) 実施要綱

環境省環境調査研修所

1. 目的

国及び地方公共団体等において環境分析業務を担当している職員が、プランクトンの検索法に係る専門的知識及び技術等を習得するとともに、全員合宿による研修生間の交流を通じて、相互啓発及びネットワーク形成を図る。

2. 期間及び会場

(1) 期間：平成31年5月13日(月)から5月17日(金)まで(5日間)

※期間中は受講者全員合宿制となります。

(2) 会場：環境調査研修所 〒359-0042 埼玉県所沢市並木3-3
TEL 04-2994-9766

3. 教科内容

次頁のとおりとする。

4. 研修予定人員

15名

5. 研修を受ける資格

次の各号のいずれにも該当する者とする。

- (1) 国及び地方公共団体等において、環境分析に係わる業務を担当している職員で、一定の実務経験を有する者
- (2) 研修受講に支障のない健康状態にある者
- (3) 所属長の推薦を受けた者

6. 研修生推薦の有無

所属長は、研修生を推薦する場合、別紙様式による被推薦者の「略歴書」及び「実務経験調書」を添えて、**平成31年4月5日(金)までに必着**するよう環境調査研修所所長あて文書により通知すること。

なお、研修生を推薦しない場合においても、前記の推薦期限までにその旨を文書(研修担当者からの事務連絡もしくは公用メールによる連絡でも可)にて通知すること。

7. 研修生の決定

環境調査研修所所長は、6の推薦に基づいて研修生を決定の上、推薦者にその旨を通知する。

8. 修了証書の交付

環境調査研修所所長は、所定の課程を受講した者(原則として1割以上欠課した者を除く。)に対して修了証書を交付する。

なお、受講の結果については、研修終了後所属長に通知する。

9. 経費

次の経費は所属長の負担とする。

(1) 往復に必要な旅費

ただし、環境省の職員については、環境調査研修所から支給する。

(2) 滞在費

ただし、国家公務員(独立行政法人職員を除く。)については日額旅費を環境調査研修所から支給する。

10. テキスト（携行資料）

（1）資料

書籍「普及版やさしい日本の淡水プランクトン（図解ハンドブック）改訂版」（滋賀の理科教材研究委員会編／合同出版）を使用。

※持参が困難な場合は、当研修所で一括発注も可能です。（1冊税込1,944円（予定））

希望者は略歴書の該当欄にその旨記載願います。費用は希望人数で送料を按分の上、ご負担いただきます。

<課題分析研修Ⅰ（プランクトン）>

○教科内容

- | | |
|------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|
| 1 実習講義 | 1.25 時間 |
| 研修カリキュラムについて、流れや今後の実習内容について理解するとともに、プランクトンの試料採取に係る基礎的な知識を習得し、現場実習での注意事項について理解することを目的とする。 | |
| 2 実習 | 25.75 時間 |
| (現地実習) | (4.75 時間) |
| (実習) | (21.0 時間) |
| 3 ゼミナール | 1.5 時間 |
| 実習結果について研修で学んだ知識をもとにまとめ、発表・討議を通じて実習内容及び実習で得た知識・成果の再確認を行い、研修内容をより深く理解することを目的とする。 | |
| 4 その他（開・閉講式、オリエンテーション、実習準備 等） | 3.0 時間 |
| 合計 31.5 時間 | |

注) 都合により一部内容を変更することがあります。

○実習内容

実習項目	目的及び方法	実習内容の概要
指標生物	プランクトンの検索法の習得	・プランクトンの採取法 ・プランクトンの同定法 ・水質評価法

○現地実習について

屋外での実習に適した服装を御用意ください。なお、長靴は当所で用意いたします。
雨天時の対応のため、必要に応じて雨具も御用意ください。

- * 開講式は10時から行います。9時30分までに入所してください。
- 閉講式は15時45分に終了する予定です。

* 次の情報を環境調査研修所ホームページに掲載しておりますので、御参照ください。

(URL <http://www.neti.env.go.jp>)

- 「研修ガイドブック」（研修受講に当たっての留意事項に関する情報を掲載しております。）
- 「略歴書」及び「実務経験調書」様式